



早稲田小だより

1年60名 2年43名 3年49名
4年57名 5年70名 6年62名
計 341名

響き合う心 自立への足音

校長 中西 健二

長い夏休みが明け 学校に子供たちの元気な笑顔が戻ってきた。

この夏 本校にとって大変嬉しい知らせが届いた。春に実施された「全国学力・学習状況調査」の児童意識調査の結果だ。かつて本校の大きな課題であった項目が、劇的に好転している。

「学校が楽しい」「自分には良いところがある」と答えた子が 全国平均を 20 ポイント以上も上回った。さらに「先生が自分の良さを認めてくれる」「悩みをいつでも相談できる」という項目も 全国比で 15 ポイント以上高い数値を記録したのだ。

子供たちが安心感に包まれ 自己肯定感を育んでいる証拠であり これこそが大事にしていきたい「心理的安全性」の確かな実りである。この心の安定(ウェルビーイング)という土台があったからこそ 国語・算数の学力調査においても 全国や県の平均を上回る素晴らしい成長(※詳細は下記グラフ参照)を見せてくれた。目標とした「107」にはあと一歩届かなかったが、この「伸び代」こそが 子供たちが 2 学期にさらなる高みへ挑戦するための原動力となると確信している。

この子供たちの「心の安定」と「主体性」の確かな育ちを 私は 7 月 21 日からの 3 日間、福島県会津・猪苗代地方への林間修学旅行で目の当たりにできた。

6 年生の姿は見事だった。大人の指示を待つのではなく 手元のしおりを何度も確認しながら「次に自分が何をすべきか」を自ら判断し 主体的に時間を使う姿に 頼もしい自立への足音を感じた。

そして 今でも胸を熱くさせる光景がある。初日の夜のキャンプファイヤー。燃え上がる火を囲み、「今日の日はさようなら」の歌が夜空に響く中 子供たちは自然と手をつなぎ 一つの大きな円を作った。満面の笑顔で 大きく手を振りながら 心を一つに歌う子供たち。そこには お互いの良さを認め合い 固い絆で結ばれた美しい「チーム早稲田」の姿があった。

認められる安心感があるから 自分を好きになり 主体的に挑戦できる。そして 仲間と深く繋がることができる。

子供たちが林間の火の光の中で見せてくれたあの美しい絆を 今度は学校全体 そして地域へと広げていきたい。一人一人の可能性を信じ すべての人が幸せを実感できるアクティブな学校を 2 学期も皆様と共に創り上げていきたい。

